

平成19年度 自己評価表（結果）

|      |    |             |     |         |
|------|----|-------------|-----|---------|
| 学校番号 | 42 | 静岡県立静岡東高等学校 | 記載者 | 自己評価委員会 |
|------|----|-------------|-----|---------|

| 今年度の重点目標（学校経営目標） |                         | 評価 | （評価者） | ※成果と課題                                | ※次年度の取組                                  |
|------------------|-------------------------|----|-------|---------------------------------------|--|
| ア                | 自立の心を育て、基本的な生活習慣の定着を図る。 | A  | 校長    | 遅刻者数の減少など、基本的な生活習慣を定着させることができた。       | 自転車のマナーの向上、あいさつの励行については一層の努力をしていく。       |
| イ                | 進路指導の充実を図る。             | B  | 校長    | それぞれの教育活動において、目標に沿った実践を行うことができた。      | 一人ひとりの進路目標を実現するために、継続した取組みをしていく。         |
| ウ                | 学習指導の充実を図る。             | B  | 校長    | 質の高い授業をめざして、公開授業旬間を設けるなどの新たな取組みを行った。  | 公開授業をとらして授業研究を推進し、教授力の向上をはかる。            |
| エ                | 研修を通して学校を活性化させる。        | B  | 校長    | 面接指導にも活かすことができるよう、コーチングについての研修会を実施した。 | 面接指導の技法と成果が授業に生かされるように、相互研修をより活発にしていく。   |
| オ                | 特別活動の充実を図る。             | A  | 校長    | 学校行事については本校の特色を活かした実践が行われ、一定の成果が得られた。 | 伝統を継承しながら新たな工夫を取り入れ、学校行事の充実を通して生徒を育てていく。 |
| カ                | 読書指導の充実を図る。             | B  | 校長    | 朝読書は定着してきたので、その上での読書指導の工夫が必要である。      | 各学年において適切な読書指導ができるよう、教科においても工夫した取組みを行う。  |

[共通]

| 領域           | ねらい                              | 評価項目   | 達成目標（東高）   | 当該重点記号番号         | （担当）                          | ※評価              | （評価者）  | ※成果と課題  | ※次年度の取組   |
|--------------|----------------------------------|--|--|------------------|-------------------------------|------------------|--|---|---|
| 学校経営         | 適切な教育目標の設定                       | 生徒・学校・地域社会の実態に即した教育目標を設定する。  | 本校の使命、教育理念を意識して教育活動を実践する。                                    |                  | 運営委員会                         | A                | 運営委員会  | 生徒実行目標、教育方針を踏まえた教育活動が実践できた。                                   | 一人ひとりの生徒を大切に、という点を一層意識して取組む。                          |
|              | 開かれた学校づくりの推進                     | 教育活動の内容等について保護者や地域等への情報発信に努める。   | ①学校行事等への保護者の積極的な参加を促す。<br>②本校の最新情報を提供するためにHPを12回更新する。        |                  | ①総務課<br>②情報室                  | ①A<br>②A         | ①総務課<br>②情報室   | ①文化祭や体育大会等、各行事について目標設定できた。<br>②月平均2回以上更新できた。                  | ①参加可能な行事についてはよりいっそうの保護者の参加を促す。<br>②引き続き積極的にHPで情報提供する。 |
|              |                                  | 学校が有する教育機能や施設等の開放を通して、生涯学習センターとしての機能の充実を図るとともに、地域の人材の活用を図る。                  | ①体育館・グラウンド等の施設を昨年度以上開放する。<br>②学校評議員制度を活用し、有益な助言を得て教育活動に役立てる。 | ①学校開放委員会<br>②総務課 | ①B<br>②A                      | ①学校開放委員会<br>②総務課 | ①1月分までの回数は127回で昨年度同時期の130回を若干下回ったが、積極的な施設利用が行われている。<br>②文化祭の音楽・演劇発表会を実際に見ていただくなどして、有益な助言を得ることができた。 | ①次年度も積極的な施設開放を行う。<br>②今年度同様の実施により教育活動に役立てる。                   |   |
|              | 事務の適切な執行                         | 表簿等の管理を厳正に行うとともに、事務の効率化、セキュリティの徹底を図る。  | 情報管理についての研修会を通し職員の意識を向上させる。                                  |                  | 事務部<br>情報室                    | B                | 事務部<br>情報室   | 研修会は開かなかったが、個人情報の管理について、文書等により注意を喚起した。                        | 事故の事例などを取り上げ、引き続き注意を喚起する。                             |
| 組織的・機能的な学校運営 | 各分掌間の連携を図り、教職員の共通理解に基づいた教育活動を行う。 | 運営委員会で様々な視点から十分な議論を行う。   |  | 運営委員会            | A                             | 運営委員会            | 耐震工事に伴う対応など、運営委員会の検討により現実的な対応ができた。   | 本校の教育実践の検討を踏まえ全体の見直しも行う。                                      |   |
| 教育課程         | 生徒の実態等を踏まえた特色ある教育課程の編成・実施        | 教育目標、重点目標及び生徒の実態等を踏まえた教育課程を編成・実施するとともに、点検・改善に努める。                            | 全学年、教科、科目のシラバスを作成し、年度末に再検討する。                                | ウ                | 教務課、各教科                       | A                | 教務課  | 全教科・科目の学習方法、シラバスを掲載した冊子（学習のみちしるべ）を学年別に作成した。                   | 生徒用であるので、わかりやすく簡潔な表現方法にする。                            |
|              | 高大連携事業の推進                        | 3年間を見通した指導プログラムに基づき、各時期に合わせた学習支援を実施する。                                       | 3年間の指導プログラムを作成し、計画に従って学習指導を実施し、かつ問題点を検討する。                   | イ・ウ              | 学力向上委員会<br>学年部、教務課<br>生徒課、進路課 | B                | 教職員  | 指導プログラムに従った実践ができた。3年間を見通した計画と各学年毎のプログラムについて検討を図る。             | 継続して指導・検討する。  |
|              |                                  | 学習機会を求める生徒に大学の講義を受講させ、本校の単位を認定する（学校設定科目「専門教養講座」）。                            | 生徒が年間20人以上受講するよう指導する。  | イ                | 研修課                           | B                | 研修課  | 受講生徒は年間17人に止まったが、生徒は熱心に取り組む多くの事を学んだ。                          | 受講人数の確保とともに、生徒に貴重な学びの機会となるよう制度を堅持したい。                 |
| 教科指導         | 基礎・基本の確実な定着と個性を生かす教育の充実          | 授業改善の推進を図る。  | 生徒による授業評価を行い授業の改善に努める。                                       | ウ                | 各教科                           | B                | 教員・生徒  | 生徒に対する授業アンケート結果を参考に授業改善を行った。                                  | いっそうの授業改善に努める。  |
|              |                                  | 個に応じたきめ細かな指導を行う。   | 数学・英語等で習熟度別授業を展開し学力を向上させる。                                   | ウ                | 学力向上委員会                       | A                | 学力向上委員会  | 2年理系数学、2-3年文系英語で習熟度別授業を実施した。教材を工夫することで効果的な学習をした。              | できるだけ少人数集団で実施したい。個々の学力に応じた指導を充実させる。                   |
|              |                                  | 週テストを活用し数学・英語の基礎学力の確実な定着を図る。   | ①数学 60%以上得点できるようにする。<br>②英語 60%以上得点できるようにする。                 | ウ                | 数学科<br>英語科                    | B<br>B           | 数学科<br>英語科   | 追テスト指導により大体達成できたが十分ではない（数学）。3年生は達成できたが、1・2年生は目標にやや届かなかった（英語）。 | 生徒がテストに取り組む意識を更に高める工夫をする（数・英とも）。                      |
|              |                                  | 週末課題を活用し基礎・基本の定着を図る。   | 週末課題の提出指導を徹底する。  | ウ                | 担当教科<br>学年部                   | B                | 担当教科   | 提出状況は概ね良好であった。僅かであるが未提出者が固定する傾向があった。                          | 提出指導を継続する。  |
|              | 自ら学び、自ら考え、課題解決に主体的に取り組む資質・能力の育成  | 授業形態や教材の工夫・改善を図る。  | 各教科の特色を踏まえ生徒の課題解決能力の向上を図る指導を実施する。                            | ウ                | 各教科                           | B                | 教員、生徒  | 生徒の課題解決能力育成を図る指導実践に努めたが、進度確保の制約もあった。                          | 授業形態や教材に一層の工夫を図る。                                     |
| 総合的な学習の時間    | 指導体制を整備し、計画的に推進する。               | 東陵セミナーを計画的に実行する。   | イ・ウ  | 総合委員会            | A                             | 総合委員会            | 計画に従って実行できている。   | 本年度の指導をより充実させる。   |   |
|              | 自ら学び、自ら考え、課題解決に主体的に取り組む資質・能力の育成  | 教員との関連付けに留意し、体験的な活動等による学習の充実を図る。   | 高原教室、保育体験活動から理科や家庭科の学習をより深く理解し、企画力・発表力を養う。                   | ウ・オ              | 総合委員会<br>理科、家庭科               | B                | 総合委員会  | 高原教室や保育体験活動を活用し、理科・家庭科に関連する実践的な知識や経験値を上げることができた。              | 実践的な活動ができるよう指導を行いたい。                                  |
|              | 目標を踏まえた学習活動を実施し、指導と一体化した評価を行う。   | 学習の定着を図り、適正な評価を行い、効果的な指導を目指す。  | ウ  | 総合委員会            | B                             | 総合委員会            | パーソナルポートフォリオを作成させ評価した。   | 担任が中心となって指導を行う現システムを継続する。評価法については検討したい。                       |   |
| 特別活動         | 社会性及び自主的、実践的な態度の育成               | 各種行事、生徒会活動への積極的な参加を通じて本校生徒としての自覚と帰属意識の高揚を図り、自覚と責任ある行動に基づきリーダーシップの取れる人材を育成する。 | オ・ア  | 学年部、生徒課          | B                             | 教職員              | 生徒が自主的・積極的に行事に取り組む姿が見られた。  | 社会性やリーダーシップを更に高められるよう指導する。                                    |   |
|              |                                  | 文化教室の充実を図り文化的素養を高める。   |  | 図書課              | A                             | 生徒               | 生徒の93%が興味をもって演劇を鑑賞した。  | 実施前の情報提供などで生徒の関心を高める。   |   |
|              |                                  | 直接的な体験活動の充実を図る。  | 修学旅行での直接的体験活動の充実を図る。   | オ・イ              | 2年部                           | A                | 生徒   | 93%の生徒が充実していたと回答した。   | 次年度担当者への引継ぎを確実にする。                                    |
| 部活動          | 生徒の自主的・自発的な活動による学校生活の充実          | 指導方法等について工夫・改善を図る。   | 面接指導および試験前部活動自粛期間設定等により、学習との両立を支援する。                         | エ・オ              | 生徒課、学年部                       | B                | 教職員  | 生徒の部活動と学習の両立を支援するため、面接指導を実施したり練習計画を工夫した。                      | 部活動の活動時間にも留意しながら、学習・部活両面での成果が出るよう指導する。                |

|          |                               |  |  |   |            |   |            |  |   |
|----------|-------------------------------|--|--|---|------------|---|------------|--|---|
| 進路指導     | 望ましい勤労観・職業観の育成                | 就業に関わる体験的・体系的なキャリア教育を推進する。                               | 東陵セミナー・社会専門講座を活用し、職業研究を充実させる。                    | イ | 進路課        | B | 進路課        | LHR・東陵セミナー・社会専門講座を活用し指導できた。                                  | より実践的な活動（職業レポート・インタビュー等）を行い、職業研究の充実を図る。 |
|          | 主体的に進路を選択し、自己実現を図ることができる能力の育成 | 進路希望達成のための指導の充実を図る。                                      | 国公立大学の合格者数を卒業生数の40%以上にする。                        | イ | 進路課<br>3年部 | A | 進路課<br>3年部 | 前期日程入試終了時で国公立大学合格者が卒業生数の49.2%に達した。（確定数字は中・後期入試発表後）           | 本年度の指導をより充実させる。                         |
|          | 社会専門講座の充実                     | 社会人講師の専門的講義を通して学習意欲の喚起と進路意識の高揚を図る。                       | 参加生徒の70%以上が興味を持つよう企画する。                          | イ | 研修課        | A | 研修課、生徒     | 殆どの生徒が興味を持ったとアンケート回答。  | 引き続き、興味深いテーマでの講義を企画する。                  |
| 保健指導     | 心身の健康の保持・増進                   | 病予防や朝食摂取等の健康増進のための取組を推進する。                               | 保健便りを毎月発行して健康についての意識を高める。                        | ア | 保健課        | B | 保健課        | 保健委員が中心となり、ほぼ計画どおり実行できた。                                     | 次年度も継続する                                |
|          |                               | 薬物乱用・喫煙・飲酒等の身体的影響に関する指導の充実を図る。                           | 薬物講座を年1回実施し、薬物乱用の恐ろしさを生徒に認識させる。                  | ア | 生徒課        | A | 生徒課、生徒     | 講座内容について96%の理解し、92%の生徒が講座が役立つと回答。                            | 継続的に実施する。                               |
| 図書活用     | 読書指導の推進                       | 朝読書等、読書指導の充実を図る。   | 朝読書で生徒1人が月に1冊、年間10冊読了する。                         | カ | 図書課        | B | 図書課        | 1月末までの平均読書冊数8.6冊、10冊以上読んだ生徒は40%。                             | 読書意欲の乏しい生徒への働きかけを行う。                    |
|          | 図書館活用の促進                      | 図書館を活用した学習活動の充実を図る。                                      | 年間2500冊以上を貸し出す。                                  | カ | 図書課        | A | 図書課        | 1月末までに3,140冊を貸出。   | 小論文指導、教科指導との連携を図る。                      |
| 教職員の資質向上 | 教職員の資質能力の向上                   | 教職員の人権意識の高揚と、教育公務員としての倫理観・使命感の向上を図る。                     | 人権教育に関する研修会を実施する。                                | エ | 研修課        | B | 教職員        | 「コーチング」についての校内研修会は、面談において生徒の人権を尊重する教師の姿勢育成にも資するものだった。        | 引き続き教職員の人権意識の高揚を図っていく。                  |
|          |                               | 校内研修の充実を図る。  | 学校重点目標について研修会を開き教職員間の理解を深める。                     | エ | 研修課        | A | 教職員        | 指定研究に資するため「学校教育に活かすコーチング」をテーマに校内研修会を実施。9割の教職員が研修会目的を達成したと回答。 | 来年度も学校重点目標達成に役立つよう教職員研修を実施する。           |
|          |                               | 各種研修への参加と研修成果の校内での活用を図る。                                 | 研修成果を教職員に還元するために報告会等を行う。                         | エ | 研修課        | A | 研修課        | 学校訪問で得た情報や海外研修等の成果について職員会議で報告会を実施した。                         | 来年度も引き続き報告会を実施し、研修成果の共有を図る。             |
| 相相談育     | 相談体制の充実                       | 相談しやすい環境づくりを推進する。  | 「相談室だより」を発行して広報活動に努める。相談員を交代配置することで利用しやすい体制を整える。 | エ | 教育相談室      | B | 教育相談室      | 「相談だより」「考える」の発行を通じて広報活動を定期的に行った。                             | 「相談だより」「考える」の一層の充実を図るとともに、保護者への広報を行う。   |
| 厚生利      | 教職員の健康の保持・増進                  | 教職員の心身の健康の保持・増進を支援する。                                    | 職員安全衛生委員会で働きやすい職場環境について議論・提言する。                  |   | 職員安全衛生委員会  | B | 職員安全衛生委員会  | アンケートの意見を参考に改善を行い、AEDの講習会や女子休養室の引越しを実施した。                    | 耐震工事も終了したので、今後は職場の居心地良い環境を整えていきたい。      |
| 管危理機     | 危機管理に関する校内体制の整備               | 学校や地域の状況を踏まえた学校独自の危機管理マニュアルに基づく実践的な訓練により学校の危機対応能力の向上を図る。 | 不審者対応マニュアルの研修会を通して職員の意識を向上させる。                   |   | 生徒課        | B | 生徒課        | 内規のマニュアルを見る程度で研修会を開くことはできなかった。                               | サスマタ等の器具の説明などを打ち合わせ等で実施したい。             |
| 事務部運営    | 教育活動の支援                       | 教務部との連携を図り、教育活動を支援する。                                    | 教務主任と月1回以上打ち合わせを行う。                              |   | 事務部        | B | 事務部        | 概ね達成できた。   | 必要な都度、打ち合わせを行う。                         |
|          | 親切・丁寧な対応の徹底                   | 生徒及び来訪者等に対して親切・丁寧な対応を行う。                                 | 80%以上の人が親切・丁寧と感じるよう努める。                          |   | 事務部        | B | 教職員・PTA役員  | 概ね達成できた。   | 引き続き親切・丁寧な対応に努める。                       |
|          | 学校事務の効率化                      | 常に創意・工夫した事務改善を図る。  | 事務改善を検討し、改善を図る。                                  |   | 事務部        | B | 事務部        | 概ね達成できた。   | 常に意識して改善を図る。                            |
|          | 学校経営予算に基づく予算の編成及び執行           | 当該年度の重点的取組を推進するための予算編成を行うとともに、計画的に予算を執行する。               | 四半期毎の執行を計画的に行う。                                  |   | 事務部        | B | 事務部        | 効率的・計画的な予算の執行ができた。   | 計画的な予算執行を行う。                            |
|          | 教育環境の整備                       | 施設・設備の整備充実を図る。   | 80%以上の人が安全・快適と感じる環境・施設整備を行う。                     |   | 事務部        | B | 事務部        | 耐震工事が完了し、概ね達成できた。  | 修繕箇所把握に努め、教育環境の整備を行う。                   |

| [課程]   |                         |  |  |      |               |          |               |   |   |
|--------|-------------------------|--|--|------|---------------|----------|---------------|---|---|
| [教育課題] |                         |  |  |      |               |          |               |   |   |
| 領域     | ねらい                     | 評価項目   | 達成目標   |      | 担当            |          | 評価者           |   |   |
| 情報教育   | 情報化に対応できる能力の育成          | 情報活用能力の育成を図る。                                  | 全ての生徒が①表計算ソフトを用いたデータ処理ができる。②ホームページを用いて情報発信ができるよう指導する。  | ウ    | 情報（教科）        | A        | 情報科           | ほとんどの生徒は基本的な処理については理解できたと思われる。ただ、今後定着するかどうかは実生活での活用の頻度によるであろう。                          | 教材等を更に工夫し、新しい内容も盛りこんでいきたい。                  |
|        |                         | 情報モラルの育成を図る。                                   | 情報の授業において情報モラルの理解を図る。                                  | エ    | 情報（教科）        | C        | 情報科           | 情報モラルを扱う時間を授業内で確保することが難しく、思うような指導ができなかった。   | 次年度には教材等を工夫し、情報モラルについて毎時間少しずつ取り上げいく形態を考えたい。 |
| 国際理解教育 | 異文化理解の推進とコミュニケーション能力の育成 | 多様な文化、歴史等を学習する機会を充実を図る。                        | 授業や社会専門講座等を通し異文化理解の一層の促進を図る。                           | ウ    | 英語科、地歴公民科、研修課 | A        | 英語科、地歴公民科、研修課 | 授業で異文化理解についての英文を読んだ（英語科）、海外に取材したビデオ・写真を使っの授業を展開した（地歴公民科）、社会専門講座で海外協力についてのテーマを取り上げた（研修課） | 今後も継続する。                                    |
|        |                         | 国際交流体験の機会を充実するとともに語学教育の充実を図る。                  | スピーチコンテスト・国際理解行事、英検等に積極的に挑戦させる。                        | イ    | 英語科           | A        | 英語科           | スピーチコンテストに積極的な参加があった。また英検に興味を持つ生徒も増えている。  | 今後も継続して指導する。                                |
| 教人育権   | 確かな人権感覚の育成              | 教科・特別活動等において、計画的に人権教育を推進する。                    | 人権教育に関する教職員の理解を深めるとともに、毎月の生徒向け相談室だよりを通して生徒の人権感覚の育成を図る。 | エ    | 研修課<br>教育相談室  | B        | 研修課<br>教育相談室  | 人権教育についての資料を配布・回覧すると共に、生徒向け相談室だよりを毎月発行し、生徒の人権感覚を啓蒙した。                                   | 今後も継続して人権感覚の育成を図る。                          |
| 環境教育   | 自然を大切にすると実践的な態度の育成      | 体験的な活動を通じた環境教育を推進する。                           | ①ゴミの仕分けを徹底させ、環境への意識を高める。<br>②高原教室を通し自然を尊ぶ姿勢を養う（1年）。    | ①ア②オ | ①保健課<br>②1年部  | ①A<br>②B | ①教職員<br>②1年部  | ①ほぼ計画どおり実施できた。<br>②高原教室に参加した生徒は自然の美しさ・厳しさを認識するとともに、環境保護の取組にも肯定的な姿勢を持った。                 | 次年度に引継ぎして有益な活動が継続されるようにする。                  |
| 教福育社   | 他人を思いやる心など豊かな人間性の育成     | 高齢者や障害のある人などへの理解を深める体験活動を推進する。                 | 保育体験実習を通して幼児をいたわる気持ちを育む。                               | エ    | 1年部           | B        | 1年部           | 特に園児係として直接園児と接した生徒は達成度が高かった。  | より生徒の参加意識を高める工夫をする。                         |
| 防災教育   | 防災意識及び防災対応能力の育成         | 大規模地震等に対する防災能力の向上を図るため、実践的な防災訓練を実施する。          | 防災訓練を実施する際、東海地震に対する行動基準の周知を図る。                         |      | 総務課           | B        | 総務課           | 避難訓練を中心とする防災訓練を2回実施した。またそれに先立って巨大地震の行動基準についてクラスごとに周知を図った。                               | 今年度と同様に取り組む。                                |
|        |                         | 高校生が地域防災の担い手としての役割を果たせるよう、地域と連携しながら防災体制の充実を図る。 | 20%以上の生徒が地域防災訓練に参加するよう指導する。                            |      | 総務課           | A        | 総務課           | 51%の生徒が参加した。  | なるべく多くの生徒が地域防災訓練に参加するよう指導する。                |

※すべてA～Dの評価の基準を記入する

A：十分目標を達成することができた

B：おおむね目標を達成することができた

C：あまり目標を達成することができなかった

D：ほとんど目標を達成することができなかった